

◎資料の概要説明

・バス路線の設定における町としての基本的な考え方としては、町民の皆さまが、生活圏である富良野市との往復やＪＲの廃線により全ての駅がなくなることから最寄りの駅となるトママ駅へ繋ぐ足を確保するものとしまして、昨年５月に開催しました住民説明会では、国道３８号線を経由して富良野市と落合間を結ぶ国道便と、トママ駅から金山・下金山を経由して富良野市と結ぶ湖畔便の２系統２路線のルートとする案についてのご説明をさせていただきましたが、その後のバス運行事業者（ふらのバス）との協議や地域の方々の利便性と効率性を考慮した結果、バス運行ルートの変更を行い、最終的に２系統３路線で設定しております。

【資料１～２ページ関係】

・資料の１ページは、バス転換後における本町の新たな交通体系を表したものであり、資料の２ページに各路線の概要等を記載しています。

路線番号①（１系統目の１路線目）は、富良野市と金山・下金山地区を結ぶ路線として、１日３往復の運行を行い、既存の占冠村営バスの３往復との併用により１日６往復するよう設定しています。

路線番号②（１系統目の２路線目）は、東鹿越（森林公園）と幾寅・落合を経由してトママ駅とを結ぶ路線として、１日３往復、石勝線の発着時間に合わせて運行を行い、この路線も既存の占冠村営バスの３往復と併せて１日６往復するよう設定しています。

この２路線に関しては、町営バスとして運行していきます。

路線番号③（２系統目）は、国道３８号線を経由して富良野市と幾寅間を結ぶ路線として、１日６往復運行するよう設定しています。

この運行に関しては、現在、富良野市から西達布まで路線バスを運行しているふらのバスが幾寅まで路線を延長して運行します。

当初は、ＪＲの代替交通手段として落合地区を発着地点とするよう協議を進めてきたところですが、ふらのバス側の最終的な判断として、人員の配置や会社の運営上の関係から落合までの運行はできないとの申し出を受け、発着地点を幾寅にせざるを得ないとして設定しています。

これにより、町の対応として、落合地区に専用車両（デマンドバス）を1台配置し、自宅付近から幾寅地区のバス停まで繋ぐことを予定しております。落合地区住民の皆さまは、幾寅で乗り換えとなりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

この路線番号①から③の2系統3路線がJRに代わる新たなバス路線として、日常生活における通学や通院等のために必要な交通手段として新設するものです。

そのほか、路線番号④になりますが、本町を経由する交通手段として現在、旭川～帯広間を3往復しております都市間バス（ノースライナー号）が、2往復増便され、1日5往復運行される予定となっています。

また、これまで本町における乗降場所としては、道の駅しかありませんでしたが、新たに落合地区にも乗降可能なバス停が設置される予定となっています。

（※但し、利用する場合は事前予約が必要となります）

以上が、JRに代わる新たな地域公共交通手段として、令和6年4月1日から運行することで準備を進めています。

【資料3～13ページ関係】

・資料の3ページは、落合地区、幾寅地区における現在とバス転換後の交通体系を比較したものであり、4～6ページについては、落合地区から富良野市への高校通学や病院へ通院する場合の具体的な時間帯や料金体系等を比較したものです。

幾寅から富良野市までの交通手段として、既存のJRが上り下り合わせて9便に対して、バス転換後は1日6便・往復で12便となり、通学や通院に際して最寄りのバス停（高校前・病院前）でご利用いただけるようになります。

・資料の7～10ページについては、金山・下金山地区から富良野市への高校通学や病院へ通院する場合の具体的な時間帯や料金体系等を比較したものです。

金山・下金山地区におきましては、既存の占冠村営バスが通学や通院に適した時間帯で既に運行している状況から、通学や通院に際しましては、最寄りのバス停から占冠村営バスをご利用いただくことになります。

町としましては、スムーズに村営・町営バスが利用できるように、共通の通学定期と共通で利用できる回数券等を設定するよう占冠村と協議を進めています。

・資料の11～13ページについては、幾寅・北落合地区から富良野市への高校通学や病院へ通院する場合の具体的な時間帯や料金体系等を比較したものです。

落合地区の説明と同様になりますが、幾寅から富良野市までの交通手段として、既存のJRが上り下り合わせて9便に対して、バス転換後は1日6便・往復で12便となり、通学や通院に際して最寄りのバス停（高校前・病院前）でご利用いただけるようになります。

また、旭川～帯広間の都市間バス（ノースライナー号）を含めて、富良野市までの移動を考えると、1日11便のバスが利用できる予定となっております。

一般利用におけるバス料金につきましては、既存のJR運賃と比較すると往復で、360円～460円の負担が増えることにはなりますが、通院等で考えますと乗り換えなしで病院前までのバス移動により、これまでよりも負担が軽減されるものでありますことからご理解をお願いしたいと考えています。

最後に、バス路線時刻表（素案）になりますが、「北落合・落合・幾寅地区用」と「金山・下金山地区用」をそれぞれまとめたものとなっております。

運行の時間帯につきましては、今後の試験運行等により時間調整が出てくるものと思っておりますが、概ねこの時間帯で設定していきたいと考えておりますので、ご理解とご協力につきましてよろしくお願いします。